



東京

「サンタさんへ」宮城からの絵手紙展

大手町



宮城県に住む子どもたちが書いた「サンタさんへの手紙」も多く展示されている。19日、千代田区大手町2丁目、遠藤啓生撮影

宮城の子どもたちが震災前の昨年、サンタクロースに宛てて描いた絵手紙の展示会が、千代田区大手町2丁目の通信総合博物館で開かれている。23日まで。昨年、フィンランドの政府公認サンタクロースに宮城県の子どもたちから届いた手紙は日本全国で最多の約3万通。仙台市をサンタが訪問し、地元の園児らと交流した。

その後、東日本大震災が起き、フィンランドの郵便局では、宮城からの手紙を1カ月間展示し続け支援を呼びかけたという。今回、「日本・フィンランドサンタクロース協会」が日本での巡回展示を企画。宮城からの3千通を中心に展示している。12月中旬には宮城、岩手、福島、3県を公認サンタが訪れる予定だという。東京都世田谷区から会場に訪れた小学校2年生の小池早希子さん(8)は「被災地にすてきなクリスマスプレゼントを届けて欲しいです」。